

## 信大研究会開かれる

過日、9月3日（木）放課後に信学会上田予備校から茅野崇先生をお招きして、1部大学受験全般、2部信州大学学部ごとの具体的な試験対策について話をさせていただきました。1年から3年まで40名を超える生徒諸君が参加し、熱心に聴講しました。熱意あるエネルギーな講話で感銘を受けた参加者も多かったのではないのでしょうか。国公立ばかりではなく、私立大学、専門学校の受験を考えている諸君にも役に立つ情報がありますので、1部の内容を中心に、講話のポイントを紹介したいと思います。参加した諸君は改めて振り返って、聞いた内容を整理してみましょう。

### 1) 文科省の進めている大学入試改革の影響について

現在、文科省は大きな大学入試改革の概要を取りまとめ、かなり具体化していますが、実施は2020年度からで、現在の高校在學生には直接の影響はありません。ただし、大学卒業時の就職の際に影響を受けるだろうというお話でした。大学入試改革後、全国の大学すべてが、自ら自校のランク付けをしなければならない状況が生まれるからです。自分の大学は10段階で3であるとか8であるとか数値で、ランク付けが実施されるわけです。もし、卒業時や在学中に、自分の行っている大学が2とか3のランクだったらショックですよ。現在のランク付けは、予備校業者等でまとめている偏差値が基準となっていて、特に表立って行われているわけではありません。それが具体的に数値で示され、卒業時であれば受験企業が知ることになるわけです。考えてみれば、恐いことですよ。現在でも全国に何百もある私立大学のわずか十数校に志願者が集中しています。その他の大学は定員割れを起こしている実態があるのです。茅野先生曰く、「ぜひ、安易な大学の選び方だけはしないで下さい。」とのことでした。ずいぶん、そこを強調されていました。安易な選び方について、具体的な話はありませんでしたが、想像はつきますよね。例えば、進路室の前にある指定校一覧表を見て、自分の評定値を思い出して、あー、これだったら自分でも行けそうだし、早々に決まって、受験勉強しなくても大丈夫そうだ。残りバイトもできるしね。これにしよう、で決めてしまう。大学でどんなことを学びたいか、どんな学科に進みたいか、その大学がどういう大学か、ろくに調べもせずに行けそうだというだけで、レストランのメニュー表から食べたいものを選ぶように、選んでしまう選び方です。最大限の努力を払う前に、行きたい大学ではなく行ける大学を選択してしまう選択法と言い換えてもいいでしょう。特に受験勉強しなくても大丈夫そうだ、と考えて選んだとしたら、入ってから大きな後悔を生んでしまうでしょう。当たり前ですが、大学は勉強するところです。好きなことなら、勉強できるという人もいるかもしれませんが、高校の勉強はその土台になるものだとすることを忘れないで下さい。それに先ほどのランク付けで自分の入った大学が2や3だったらどうしますか。

2) センター試験で7割取れば、合格が見えてくる。

センター試験は全教科受験であれば、950点満点です(国200点、英250点、数ⅠA100点数ⅠB100点、理科、社会科目100点—文系:社2科目、理1科目、理系—理2科目、社1科目)。その7割は665点ですね。7割取れば、かなりの大学が合格圏に入ってくるので、目安にしてほしいとのことでした。2部の話でも、信大なら、多くの学部で70%~75%で合格圏に入ってきます。その他、多くの地方国公立大もその割合が目安になるかと思います。ちなみに私大についてはどうでしょうか?私大は科目数が少ないので、国公立より割合が上がってしまいますが、日東駒専(日本大学、東洋大学、駒澤大学、専修大学)レベルなら合格圏に入ってくるそうです。MRCH(明治、立教、中央、法政)レベルなら8割は必要になるでしょう。国公立で8割と言ったら、もうブロック大(千葉大、筑波大、横浜国大等)にも届いてしまいます。医学部や難関国公立なら85%以上が目安になります。では、7割取るにはどうすればいいのでしょうか。茅野先生曰く「**今やっている学校の勉強をしっかりとやること**」というお話でした。確かにセンター試験の問題は、教科書内容からの出題です。今やっている教科内容をしっかりと身につけること。そこから始まるのは間違いがありません。もちろん、授業の集中は不可欠ですが、教科内容をしっかりと身につけるには「**家庭でよく復習すること**」が重要だということも強調されていました。また、予備校でやっていることは、特別なことではない。基本は「**高校の復習であるし、中学校の復習だ。**」という言葉も印象に残っています。皆さんの中には塾や予備校に何となく行けば、勉強ができるようになると思っている人はいないでしょうか?何となく行っても決して出来るようにはなりません。自分の中の弱点を潰して行くこと。そのためには中学校まで遡れるという気概が重要なのです。学校の勉強を疎かにして、学力が伸びることもあり得ないでしょう。

「**受験勉強の開始時期は2年の秋**」という話も参考になることです。特に2年生諸君の中には、3年からでもいいやと思っている人は多いかと思いますが、3年はあつという間に、過ぎてしまいます。実は模試で言えば、3年の秋10月の記述模試が大学受験判定の大きな目安にされます。そこまでに受験の基礎がしっかりできていれば、1、2月の試験までに大きく伸びて行く要素になるのです。そう考えると、後1年間ということになりますよね。

\*参加した諸君に感想を書いてもらいましたので、参考にいくつか掲載しておきます。

・研究会を聞いて、また更に国公立大に行きたい!という気持ちが高まりました。レベル分けされるのであれば、今から頑張って勉強したいと思いました。センター試験についても知らない情報を聞いたし、目標点も聞き、より目標が明確になりました。心を動かされました。ありがとうございました。(1年)

・わからない所を見つけて、そこからやり直す事が大切だと分かりました。また、日々の授業に真剣に取り組むことも大切だと分かりました。自分が行きたい大学に向かってしっかりと勉強できるようにしていきたいです。(1年)

裏に続く

・日々の勉強をしっかりとやっていたら、60%は点数が取れるようになっているということを聞いてびっくりしました。家で勉強する時間が少ない分、授業を真剣に取り組むことが大切なんだなと思いました。どこかでつまずいたら、中学校に戻るというのは、今まで分からなかったことが分かるようになるので、実践してみたいです。名前を書くだけで合格できる大学もあるそうですが、それは絶対に避けたいです。3年生になってから勉強すればいいと思っていましたが、3年間のほとんどが大学受験のために勉強すると思うので頑張りたいです。今度こそは自分の行きたい所に行けるようにしたいです(1年)

・大学は簡単に決めてはいけないんだと良く分かりました。1年生の今は、復習をとにかくきちんとやること、毎日の授業をしっかりと受けることが大切だと講師の先生がおっしゃっていました。私はこれを実行していきたいです。そして、最終目標であるセンター試験で、70%をとれるように頑張りたいと思いました。前半しか講話を聞けませんでした、たくさんのためになるお話をさせていただきました。ありがとうございました。(1年)

・去年も参加しましたが、講話に参加することによって危機感を感じられたり、勉強のやる気が出ます。今年もそれらを感じることが出来、又新しい大学の情報を知ることが出来て良かったなと思いました。大学がどのくらいあって、このような大学には志望者が多くて、合格するためにはどんな勉強方法で、何を頑張っていけば良いのかが分かるのは、とても良かったです。又、今後何をしていけば良いのか具体化されたのでやっていこうと思います。(2年)

・今の今まで受験勉強をする気がでなかったんですが、今回センターを受ける人のほとんどが決まったようなところの大学を受けることや、今はそうでなくても、新しい試験の方法が自分の就職に関わってくることを聞いて焦ったし、でもセンターの内容は日々の授業をしっかりと受けたりすることで、他の人たちと戦えるらしいので、やる気がすごく出てきました。ありがとうございます。(2年)

・自分たちが就職するときに卒業した大学によって企業側の評価が分かりやすくなるから安易に大学を決め手はいけないということを聞き、大学のレベルをしっかりと調べてから決めた方が良いと分かった。センター試験では6割は授業をしっかりと受けていればとれるレベルで合格ラインは約7割とれば良いから、残りの1割をどれだけ頑張って勉強するかが重要になる。(2年)

(3年については2部参加者多かったため、割愛します。)